

「第7回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」 助成テーマ決定

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、動物愛護の考えのもと、動物実験代替法の開発に取り組んでいます。その研究の一環として、2007年度より日本動物実験代替法学会の全面的なご協力のもと、「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行っており、今回で第7回目の実施となります。厳正な審査の結果、2件の研究テーマに対し、助成交付が決定しました。

助成テーマについて

2013年12月9日に募集を開始した「第7回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、2014年2月28日で募集を締め切り、多数の応募をいただきました。厳正な審査の結果、今回の研究助成交付は以下2件に決定しました。

研究助成交付者(所属)敬称略	研究課題
小名 俊博 (九州大学 産学連携センター)	皮膚刺激測定における共通手法の開発 —恒常性維持の最前線センサーシステムである表皮角化細胞ミトコンドリアの利用—
吉門 崇 (独立行政法人 理化学研究所)	胆汁形成を担うトランスポーターの in vitro 機能評価系に基づいた薬物誘発性胆汁うっ滞型肝障害のリスク評価

上記テーマにつきましては、2014年5月より研究助成を開始いたします。

なお、「第8回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」の実施についても、現在検討中です。詳細が決定しましたら、再度ご案内します。

【マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募について】

「マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」は、動物実験代替法に関する研究を進めるため、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることを目的に、2007年度より実施しています。

第7回についても、以下の条件にて、アジアを中心とした世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募り、採用テーマに対し、研究助成を行なっています。

・第7回募集要項

①テーマ	動物実験代替法に関する研究(研究分野は問わない)	
②助成内容	1件あたり50万円～200万円、総額250万円/年間	
③スケジュール	2013年12月9日	募集開始
	2014年2月28日	募集締切
	2014年3月上旬	選考開始
	2014年4月上旬	助成テーマ決定
	2015年3月31日迄	助成期間

【動物実験代替法開発に対する当社の考え】

近年、世界各国で動物愛護運動が高まってきています。それにともない、欧州連合(EU)では、2013年3月から、動物実験を行なった原料を含む化粧品製品の製品すべてが販売できなくなりました。

日本でも、3Rs(Replacement:動物を用いない方法への置き換え、Reduction:動物の使用数の削減、Refinement:実験時の動物に与える苦痛の軽減)の概念に則って、動物実験の見直しが動物愛護の観点から社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性は、さまざまな方法で確認する必要があります。マンダムでは、基本的にヒトを用いた試験(パッチテスト、ステインギングテスト等)および動物実験代替法を活用し、動物実験を行わない方針を表明しました。また、より進んだ安全性確保のためには、さらなる動物実験代替法の開発が必要であると考えます。よって現在3Rsの中でも、「Replacement」に着目し、動物実験代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、動物実験代替法研究への公募による助成を行なっています。

以上